

第1回なにわECOスクエア（生物多様性保全に向けたネットワーク会議）

日時：平成30年8月3日（金） 10時～12時25分

会場：環境活動推進施設（愛称「なにわECOスクエア」）2階

参加者：14名

配布資料：次第

資料1 なにわECOスクエアを拠点とした新たな連携・協働の仕組みについて

資料2 大阪市生物多様性戦略に基づく平成30年度の主な取組み

資料3 協働で取り組むプロジェクトについて

資料4 大阪市環境基本計画について

※その他 大阪市生物多様性戦略、同リーフレット

●開 会

大阪市 あいさつ

大阪市は、今年3月に大阪市生物多様性戦略を策定した。戦略の策定にあたっては、各方面の方から様々なご意見をいただいたが、戦略の推進にあたっては、多様な主体が参加・参画できる仕組みを構築していくことが非常に重要であると考えている。本日の会議は、そのような仕組みを構築していく第1歩として開催させていただくものであり、今後も、継続的に実施していく。

この会議での取組みを通じて、生物多様性の保全に向けた、多様な主体によるパートナーシップの仕組みを構築してまいりたい。本日は、忌憚のない意見交換ができますよう、お願い申しあげる。

●出席者自己紹介

●議題1 なにわECOスクエアを拠点とした新たな連携・協働の仕組みについて

資料1に基づき、大阪市が説明

<意見要旨>

- **開催案内の方法**：HPに掲載する際、議題を記載し、何を動かす会議なのか目的を明確にすべき。
- **参加者**：日にちの都合がつく人が、都度参加でも入り込めるフレキシブルな会議にしてほしい。
- **連携・協働の仕組み**：戦略に、多くのネットワークに参画すると書かれており、それが73ページの連携・協働の仕組みの概念図につながる。この図は抽象的で、各具体的施策との間が乖離しているため、どのようにつなぐのか、この会議が何を指すものかを明確にすることが大事であり、それをこの会議で検討していく。
- **戦略のモニタリング・評価の手法**：検討課題である。市民を含めてチェックする手法が考えられる。
- **具体的施策の評価指標の決定**：情報を集めて整理する必要があるため難しい。環境局が生物多様性保全推進WGを活用して、実施主体に取組状況の照会を行いとりまとめることは可能ではないか。
- **今後の会議の方向性**：戦略の目標を掲げながら、取組方法、結果を報告し、改善していくことを目的とする。

●議題2 大阪市生物多様性戦略に基づく平成30年度の主な取組みについて

資料2に基づき、大阪市が説明

<意見要旨>

- **研修**：教育委員会として、生き物の知識がない先生でも気軽に参加できる研修をもっと行うべき。
- **自然に触れ合える場所**：水田や公園など、その場に合った形で自然に親しめる空間を設定し、そこで環境教育ができれば良い。公園では花壇ではなく草原を残すと、子どもたちが自然と触れ合える。
- **戦略の改定**：2018, 2019年の2年間の取組み結果を踏まえ、2020年度に改定することになるので、1年ごとのPDCAサイクルが非常に重要である。

●議題3 協働で取り組むプロジェクトについて

資料3に基づき、大阪市が説明

<意見要旨>

【ビオトープづくりについて】

- **プロジェクトを行う場合**：ビオトープを作るのであれば、PDCAのCをしっかりとしないと評価ができないのではないかと思います。今のボランティアがスキルは持っているので協力してもらえば良いと思う。どんな生き物がいるかなど、チェックする必要はあると思う。
チェックについては、過去のデータがあるので、過去の生物相を呼び戻すことを考えたかどうか。
- **自然体験観察園のあり方**：これまで様々な人の関わりがあっでできている。今どのような状況かを何度か考える場を設けて、ビオトープづくりや今後についてはゆっくり考えるべき。
- **モニタリング調査・データ蓄積**：鶴見緑地に来た人が見つけたものを書き込み、自動的にデータが蓄積される仕組みをつくる他、今ある環境学習講座で見つかった生き物を定型の様式に記入することで、新たな取組みがなくてもデータは蓄積される。
- **普及啓発**：現地に来ている人向けに、今見られる希少種を掲示板で紹介してはどうか。
- **契約方法**：環境学習講座や施設の利用方針は、委託者と受託者で共有できているのか。契約の方法についても複数年のプロポーザル方式にするなど、検討していただきたい。

【大阪城公園の濠での生き物さがしについて】

- **実施目的**：濠が広いので、外来種駆除を目的とするのは難しい。
- **実施内容**：濠の水を抜いて生き物調査をするのが良いのではないかと。
- **実施にあたって**：漁業権の問題が考えられる場合は、事前に申請する必要がある。資料にメディアの記載があるが、地元のメディアはどうか。
- **濠の状況**：外から水の流れがあれば、ワンドのような希少種が生息する場所になると思うが、現時点では難しい。
- **次回**：どうすれば生物多様性に関する取組みになるかなど、皆さんからご意見をいただきたい。

●議題4 大阪市環境基本計画について

資料4に基づき、大阪市が説明

●その他

- **森林環境税について**：平成31年度から森林環境税の譲与が始まると思うが、戦略との関連性はないのか。

以上